

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ソフトバンク & SBIグループ株式ファンド」は、2017年10月27日に第12期決算を行いました。

当ファンドは、ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を通じてわが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象として信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第12期末(2017年10月27日)

基準価額	15,316円
純資産総額	1,351百万円
第12期	
騰落率	40.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

ソフトバンク & SBIグループ 株式ファンド

追加型投信 / 国内 / 株式

交付運用報告書

第12期(決算日2017年10月27日)

作成対象期間(2016年10月28日~2017年10月27日)

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2016年10月28日～2017年10月27日)



期首：10,942円

期末：15,316円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：40.0% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

マザーファンドを通じて投資するソフトバンクグループ、ヤフー等の株価の上昇が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

マザーファンドを通じて投資する、アスクルや窪田製薬ホールディングス等の株価の下落が基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2016年10月28日～2017年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	119 (57) (57) (6)	0.907 (0.432) (0.432) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	7 (7)	0.057 (0.057)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.027 (0.027) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	130	0.991	
期中の平均基準価額は、13,108円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年10月29日～2017年10月27日)



(注) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

	2012年10月29日 決算日	2013年10月28日 決算日	2014年10月27日 決算日	2015年10月27日 決算日	2016年10月27日 決算日	2017年10月27日 決算日
基準価額 (円)	4,480	13,429	11,205	12,268	10,942	15,316
期間分配金合計(税込み) (円)	0	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	8.4	199.8	△ 16.6	9.5	△ 10.8	40.0
純資産総額 (百万円)	804	2,259	1,484	1,176	1,014	1,351

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2016年10月28日～2017年10月27日)

期首から年末にかけては、米国の年内利上げ観測の高まりを背景とした円安や、原油高を受けた欧米株高から、日本株も上昇基調となりました。米大統領選挙では予想外となるトランプ氏が大統領に就任することとなり、荒い値動きとなりましたが同氏の掲げる財政刺激策への期待から米国株が上昇基調となり、円安とともに上昇して年末を迎えました。年明け以降は、米国の政策動向に影響を受ける展開となりました。米トランプ大統領がアメリカ・ファーストを掲げる中、世界中で「保護主義」の文化が伝播するとの懸念や、米軍によるシリア攻撃や北朝鮮情勢などの地政学リスクの高まりから、一進一退となりました。その後は、地政学リスクの後退とともに企業業績への期待から上昇に転じ、10月に入ると日経平均株価は過去最長の16連騰を達成したほか、27日には1996年7月以来21年ぶりとなる22,000円台に乗せました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年10月28日～2017年10月27日)

<当ファンド>

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

個別銘柄別では、主要投資先であるソフトバンクグループとヤフーがプラスに寄与した一方、アスクルや窪田製薬ホールディングスがマイナス寄与となりました。ソフトバンクグループは、安定的な収益源である通信事業と投資事業、先行投資回収期間が長期に亘るアーム事業など多岐にわたっています。ワイモバイルを中心とするMVNOの拡大に伴う通信事業者のARPU（1契約当たりの売上）減によって、国内通信事業は減益基調となっています。しかしながら、テクノロジー分野への投資が続いていることでビジネスモデルの変化が好感されたほか、アリババの株価上昇も追い風となり堅調推移となりました。ヤフーは、17年に連結子会社アスクルの物流センターで火災が発生したことに伴う損失が膨らみ、営業利益は減益となる局面がみられたものの、足元の業績は堅調なものとなりました。検索連動型広告が好調であることや、コマース事業ではソフトバンクのスマホユーザーは自動的にYahoo!プレミアム会員になれるという新たな施策を開始、ポイント還元の強化施策を打つことで取扱高増加を目指し、ショッピング事業の取扱高は拡大基調となっており株価は底堅く推移しました。

当期の組入銘柄の異動は以下のとおりです。アキュセラ・インクは三角合併による組織再編で、発足する日本法人名を「窪田製薬ホールディングス」としました。これに伴い、アキュセラ・インクから窪田製薬ホールディングスに1：1の株式交換を行いました。株式会社ソルクシーズは、SBIホールディングス株式会社の持分法適用関連会社から外れたことから全株売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年10月28日～2017年10月27日)

当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

分配金

(2016年10月28日～2017年10月27日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第12期
	2016年10月28日～ 2017年10月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,316

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク & SBIグループ株式に投資します。

<ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

お知らせ

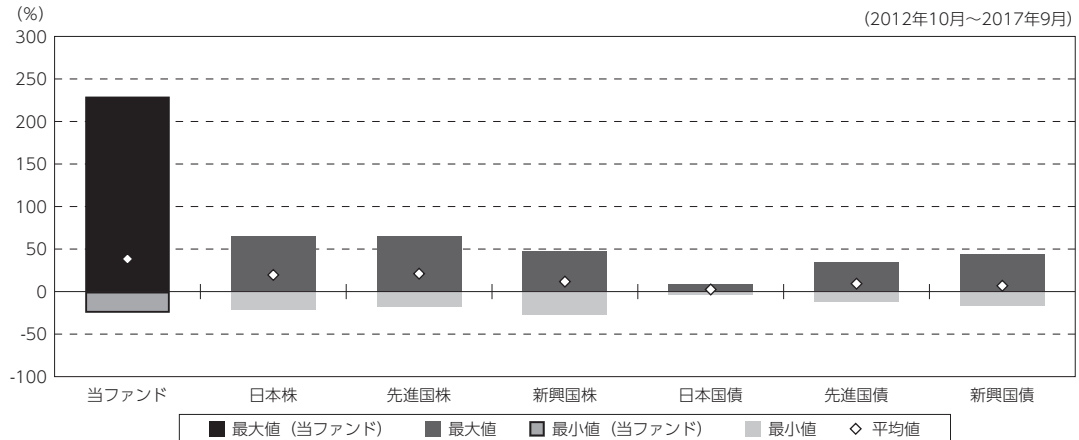
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	原則として無期限（クローズド期間はありません）	
運用方針	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	主として、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。 なお、マザーファンド受益証券の組入れ比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、原則として組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	229.3	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 24.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	38.4	19.5	21.1	11.7	2.5	9.3	6.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2012年10月から2017年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P10の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年10月27日現在)

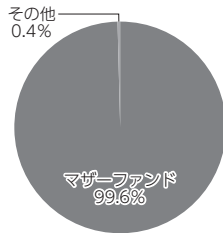
○組入上位ファンド

銘柄名	第12期末
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

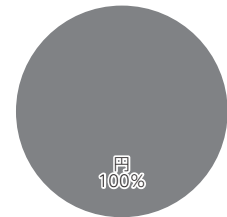
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

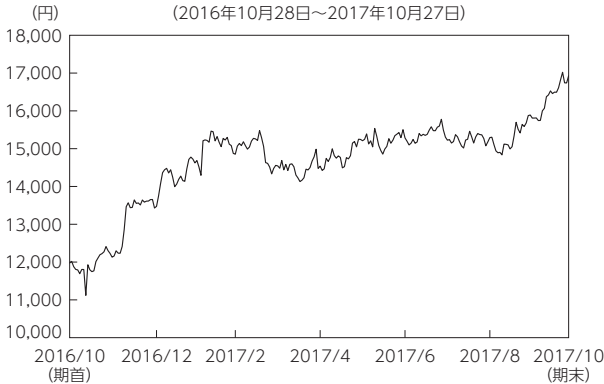
項目	第12期末
	2017年10月27日
純資産総額	1,351,625,693円
受益権総口数	882,471,903口
1万口当たり基準価額	15,316円

(注) 期中における追加設定元本額は379,789,957円、同解約元本額は424,233,504円です。

組入上位ファンドの概要

ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年10月28日～2017年10月27日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	8 (8)	0.057 (0.057)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	8	0.057

期中の平均基準価額は、14,419円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2017年10月27日現在)

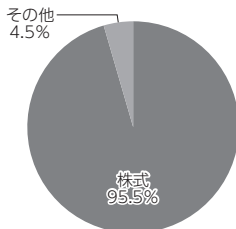
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	48.4
2	ヤフー	情報・通信業	円	日本	37.7
3	SBIホールディングス	証券・商品先物取引業	円	日本	5.1
4	アスクル	小売業	円	日本	2.1
5	ソフトバンク・テクノロジー	情報・通信業	円	日本	0.6
6	パリュウコマース	サービス業	円	日本	0.4
7	モーニングスター	サービス業	円	日本	0.4
8	窪田製薬ホールディングス	医薬品	円	日本	0.3
9	ブックオフコーポレーション	小売業	円	日本	0.2
10	アイティメディア	サービス業	円	日本	0.2
	組入銘柄数		13銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

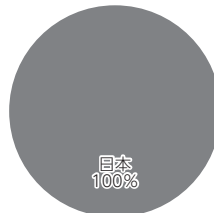
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

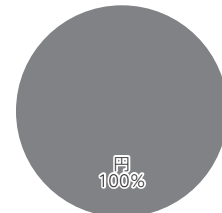
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2017年10月27日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。